



令和元年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 マジェスティ ゴルフ株式会社
代表者名 代表取締役社長 金 在 昱
(コード番号：7834)
問合せ先 常務執行役員 CFO 鈴木 正道
(TEL：03-6275-6700)

令和元年 9 月期通期業績予想と実績値との差異及び 繰延税金資産の計上に関するお知らせ

令和元年 9 月期連結会計年度の業績について、令和元年 5 月 15 日公表の業績予想と差異が生じたのでお知らせします。

また、繰延税金資産の計上について併せてお知らせします。

記

(単位：百万円)

1. 令和元年 9 月期通期連結業績予想と実績値との差異 (平成 30 年 10 月 1 日～令和元年 9 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	6,615	△ 64	△ 80	△ 215	△ 12.48
実 績 値 (B)	6,642	△ 115	△ 161	△ 158	△ 9.22
増 減 額 (B-A)	27	△ 51	△ 81	57	
増 減 率 (%)	0.4%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 9 月期通期)	6,054	△ 333	△ 327	△ 388	△ 22.56

2. 修正の理由

売上高につきましては、健康食品関連事業において前回見込みをやや下回ったものの、ゴルフ事業において昨年 10 月に発売した旗艦モデル「マジェスティ プレステジオ X (テン)」の売上が好調に推移したこと、また今年 9 月に発売した「マジェスティ ロイヤル」の店頭設置が計画通りに進捗したことなどにより、前回予想を上回る結果となりました。

損益面については、上期に続き下期においても組織改編を加速したことにより、付随する一時費用が発生しました。また、「マジェスティ ロイヤル」の販売開始時期を早めたことにより、当初の予定を上回る販売促進費及び広告宣伝費を計上しました。

これにより販売費及び一般管理費が増加し、営業利益及び経常利益が前回見込みを下回ることとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、次期の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の一部計上を行ったことなどにより、前回見込みを上回ることとなりました。

3. 繰延税金資産の一部取崩しについて

当社は令和元年5月15日に通期業績予想の修正を行い、繰延税金資産の取崩しを行いました
が、次期の業績見通し等を踏まえ繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、業績向上によって将来に渡り課税所得の発生が見込まれるとして、繰延税金資産を117百万円計上いたします。

以上